

敦賀市中心拠点地区 都市再生整備計画事業の事後評価 概要

1 計画目標

【大目標】 北陸新幹線敦賀開業を契機とした中心市街地の賑わい創出と活気にあふれた港まちつるがの再興

課題① 中心市街地において低下する人口密度の維持

⇒目標 1：中心市街地の活力を生み出すための子育て世代の定住促進を目指したまちづくり

課題② 北陸新幹線の開業に向けた受け皿づくり

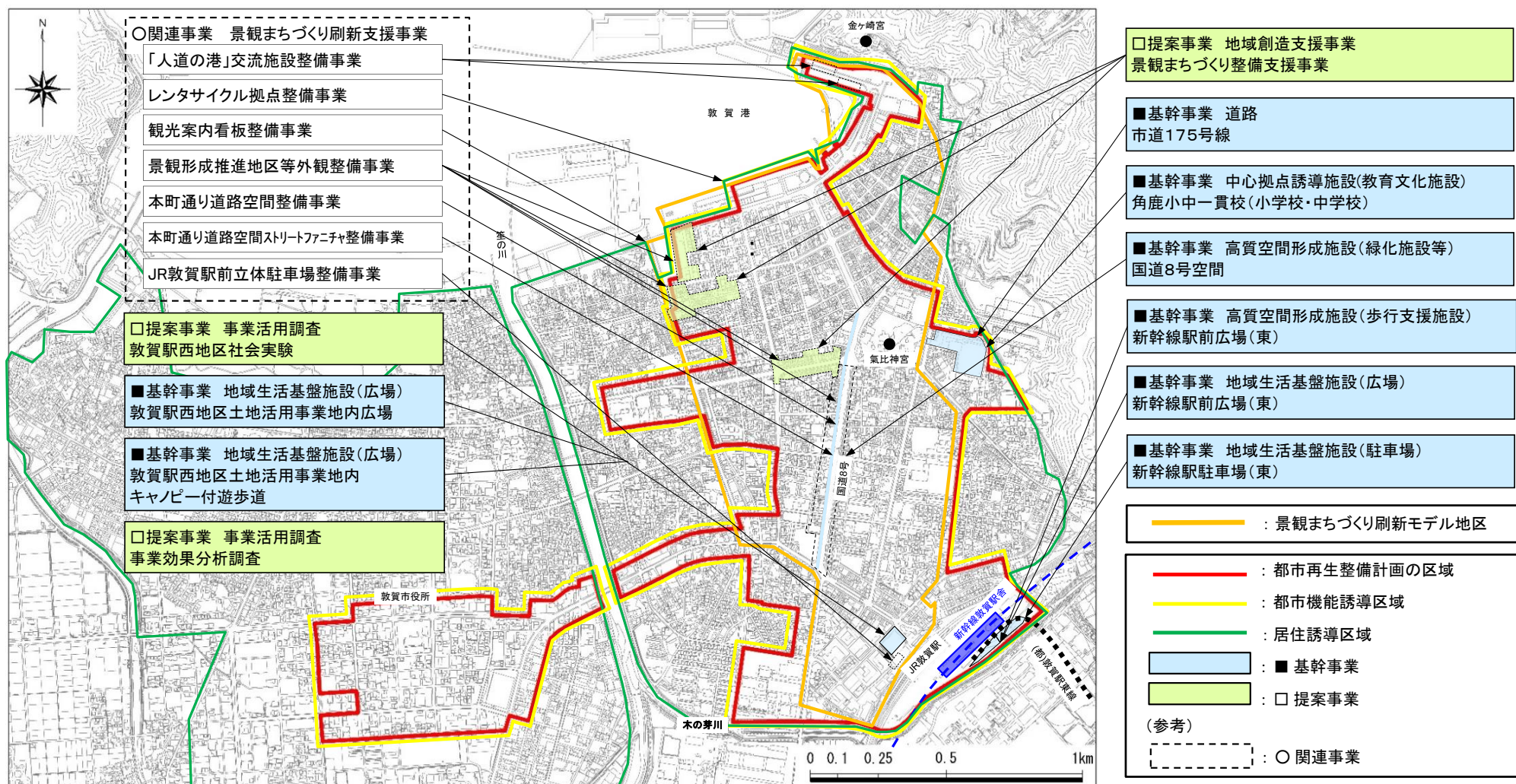
⇒目標 2：敦賀駅周辺エリアの利便性向上と賑わい創出を目指したまちづくり

課題③ 観光拠点となる敦賀駅周辺エリアの活性化

⇒目標 3：敦賀駅から敦賀港までを繋ぐ魅力ある公共空間を目指したまちづくり

目標を定量化する指標	従前値	目標値
都市機能誘導区域の人口密度 (単位：人/ha)	39.5 (H29)	39.5 (R5)
JR 敦賀駅の日平均乗車人数 (単位：人/日)	3,610 (H28)	4,510 (R5)
中心市街地の歩行者・自転車通行量 (単位：人)	2,331 (H30)	2,686 (R5)

2 実施事業

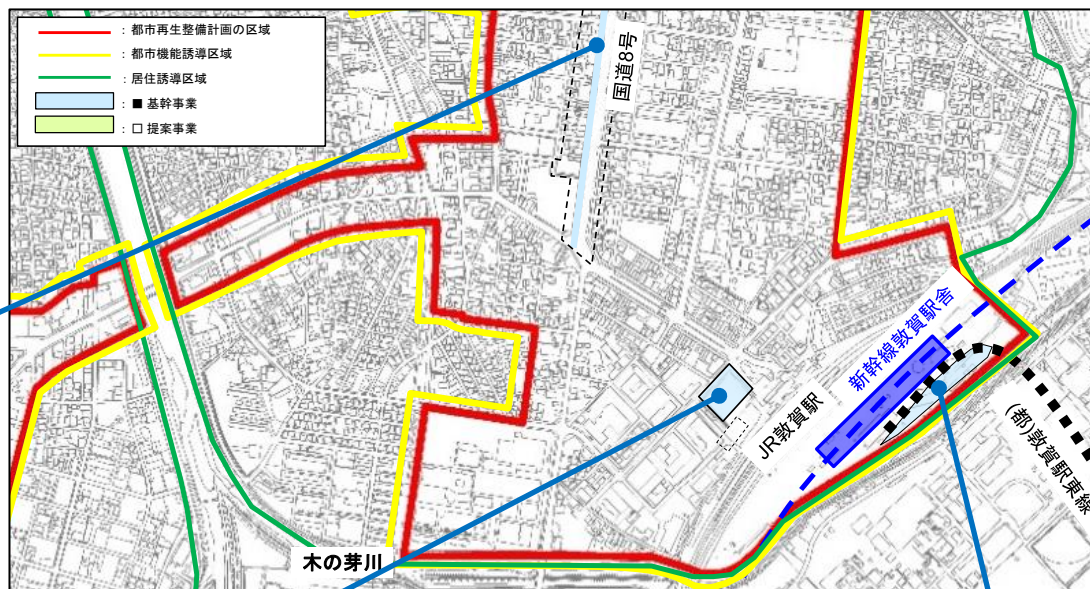


2 実施事業

国道8号空間

事業期間：令和2年度～令和4年度

整備概要：敦賀駅から氣比神宮や敦賀港周辺の観光施設を結ぶ事業区間について、国交省の道路空間再編に伴い創出される歩行空間の魅力と回遊性を高めるため、歩道の美装化や植栽等の景観整備を行った。



敦賀駅西地区土地活用事業地内広場・キャノピー付遊歩道、敦賀駅西地区社会実験

事業期間：令和3年度～令和4年度

整備概要：エリア内の各施設をキャノピー付遊歩道で結ぶことで回遊性を高め、エリアの利便性向上に寄与した。また、エリアの中央に位置する広場部分は、来訪者のみならず、市民の交流や憩いの場として開放され、各種交流イベントの開催やキッチンカーの出店など、賑わいの創出にも寄与できるよう整備した。



新幹線駅前広場（広場・駐車場・歩行者支援施設）

事業期間：令和元年度～令和5年度

整備概要：北陸新幹線で敦賀に訪れた来訪者が目的地へ向かうための二次交通へのスムーズな乗換えが可能となる利便性の高い敦賀駅を想定し、駅前ロータリー及び緑化空間、一般車駐車場、キャノピーを整備した。

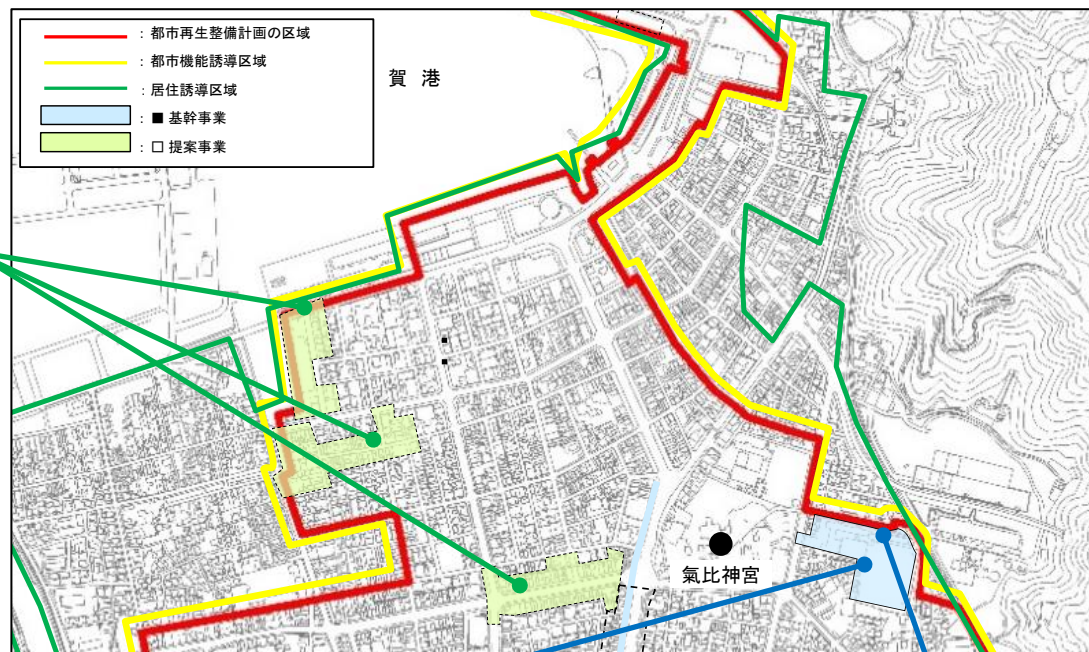


2 実施事業

景観まちづくり整備支援事業

事業期間：令和2年度

整備概要：地域の魅力向上を図るため、景観形成推進計画に基づき、建築物等の新築や増改築等の外観整備を行うものに対して一部支援を行った。



角鹿小中一貫校（小学校・中学校）

事業期間：令和元年度～令和5年度

整備概要：既存の角鹿中グラウンドに、郊外の2校を含む3つの小学校と1つの中学校の統合により、小中施設一体型校舎を新築し、令和3年4月に「敦賀市立角鹿小中学校」として開校した。また、校舎新築にあわせ、サブアリーナやグラウンド整備等を行った。



市道 175 号線

事業期間：令和3年度

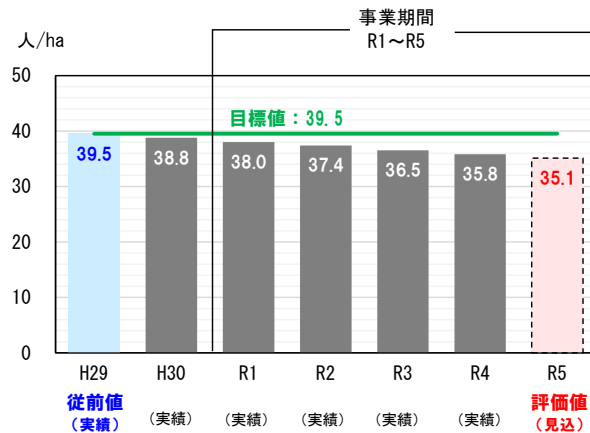
整備概要：「角鹿小中学校（小中一貫校）」の整備に合わせ、教職員や来校者等の駐車場整備に伴う市道 175 号線（既設）の付替え工事を行った。



3 目標の達成状況

【指標 1】

都市機能誘導区域の人口密度



評価値の求め方

住民基本台帳による都市機能誘導区域内の近年の人口動向から、令和5年度末の同区域内人口を推計し、都市機能誘導区域面積で割り返して評価値（見込値）とした。

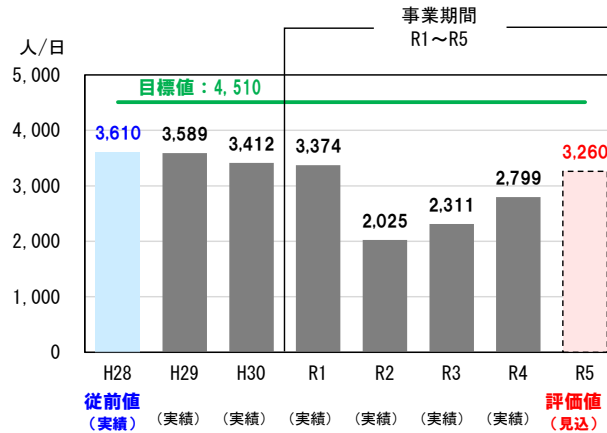
目標値の達成状況

⇒ 目標未達成

角鹿小中一貫校の整備等、子育て環境が整備されたが、市全体の人口減少が進む中、都市機能誘導区域内においても人口が減少傾向にあり、区域内人口密度の維持には至らなかった。

【指標 2】

JR 敦賀駅の日平均乗車人員



評価値の求め方

JR 西日本金沢支社が公表する JR 敦賀駅の近年の利用動向から、令和5年度の日平均乗車人員を推計し、評価値（見込値）とした。

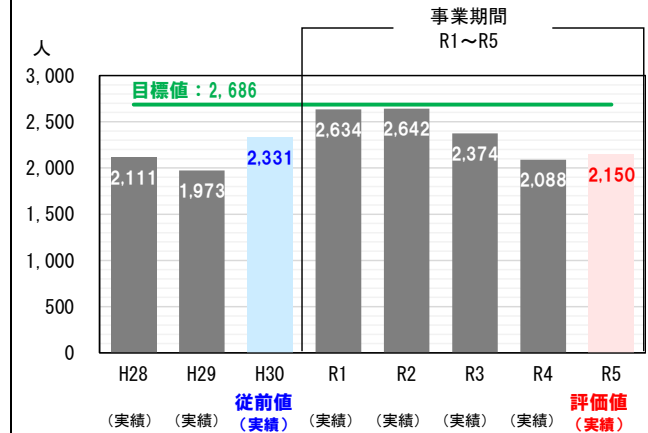
目標値の達成状況

⇒ 目標未達成

計画策定時から北陸新幹線金沢～敦賀区間の開業時期が延期となり、新幹線敦賀駅の供用開始が交付期間の期末 (R6.3) となったことや、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響により、乗車人員の目標達成には至らなかった。

【指標 3】

中心市街地の歩行者・自転車通行量



評価値の求め方

氣比神宮前交差点において観測された歩行者・自転車の通行量実績値（平日及び休日の合計）を評価値（実績値）とした。

目標値の達成状況

⇒ 目標未達成

計画策定時から北陸新幹線金沢～敦賀区間の開業時期が延期となり、新幹線敦賀駅の供用開始が交付期間の期末 (R6.3) となったことや、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛の影響により、乗車人員の目標達成には至らなかった。

4 当初の数値目標以外の指標による効果の計測

【その他の指標 1】 敦賀市移住支援補助金の利用者数 <table border="1"> <caption>敦賀市移住支援補助金の利用者数</caption> <thead> <tr> <th>事業期間</th> <th>人/年</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>2</td> <td>従前値 (実績)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>8</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>28</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>55</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>60</td> <td>評価値 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>	事業期間	人/年	評価値	R1	2	従前値 (実績)	R2	8	(実績)	R3	28	(実績)	R4	55	(実績)	R5	60	評価値 (見込)	【その他の指標 2】 TURUGA POLT SQUARE「otta」の来場者数 <table border="1"> <caption>TURUGA POLT SQUARE「otta」の来場者数</caption> <thead> <tr> <th>事業期間</th> <th>人/年</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>0</td> <td>従前値 (実績)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>420,600</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>655,900</td> <td>評価値 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>	事業期間	人/年	評価値	H30	0	従前値 (実績)	R1	0	(実績)	R2	0	(実績)	R3	0	(実績)	R4	420,600	(実績)	R5	655,900	評価値 (見込)	【その他の指標 3】 つるがシェアサイクルの利用者数 <table border="1"> <caption>つるがシェアサイクルの利用者数</caption> <thead> <tr> <th>事業期間</th> <th>人/年</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>2,992</td> <td>従前値 (実績)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,165</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5,702</td> <td>(実績)</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>7,800</td> <td>評価値 (見込)</td> </tr> </tbody> </table>	事業期間	人/年	評価値	R2	2,992	従前値 (実績)	R3	4,165	(実績)	R4	5,702	(実績)	R5	7,800	評価値 (見込)
事業期間	人/年	評価値																																																						
R1	2	従前値 (実績)																																																						
R2	8	(実績)																																																						
R3	28	(実績)																																																						
R4	55	(実績)																																																						
R5	60	評価値 (見込)																																																						
事業期間	人/年	評価値																																																						
H30	0	従前値 (実績)																																																						
R1	0	(実績)																																																						
R2	0	(実績)																																																						
R3	0	(実績)																																																						
R4	420,600	(実績)																																																						
R5	655,900	評価値 (見込)																																																						
事業期間	人/年	評価値																																																						
R2	2,992	従前値 (実績)																																																						
R3	4,165	(実績)																																																						
R4	5,702	(実績)																																																						
R5	7,800	評価値 (見込)																																																						
評価値の求め方 令和 6 年 1 月までの実績値に令和 6 年 2 ～ 3 月の利用者数見込み（令和 5 年 4 月～令和 6 年 1 月の利用者数が 50 人であることから、令和 6 年 2 ～ 3 月の利用者数見込みは 10 人とした）を加えて評価値（見込値）とした。	評価値の求め方 令和 6 年 2 ～ 3 月までの来場者数を、令和 5 年 2 ～ 3 月の来場者数の傾向により推計し、令和 5 年 4 月～令和 6 年 1 月の実績値を合計して、評価値（見込値）とした。	評価値の求め方 令和 6 年 1 ～ 3 月の利用者数を令和 3 ～ 5 年の 1 ～ 3 月における利用者数の傾向により推計し、令和 5 年 4 ～ 12 月までの実績値を合計して、評価値（見込値）とした。																																																						
所見 角鹿小中一貫校の整備による子育て環境の充実や、新幹線駅前広場等の整備による交通利便性の向上、敦賀駅西地区土地活用事業による中心市街地の賑わい創出により、本市の居住地としての魅力を向上し、移住定住者数の指標となる本補助事業の利用者増加に寄与したと判断した。	所見 敦賀駅西地区社会実験の実施により施設整備の方向性を検討した上で、市民や来訪者の憩いの場となる広場や、エリア内の回遊性を高めるキャノピーを整備することで、エリアの魅力を向上し、想定を超える方に来場いただくなど、中心市街地の賑わい創出に寄与したと判断した。	所見 国道 8 号空間の整備や、つるがシェアサイクルのサイクルポート整備により、市民だけでなく来訪者も、まち並みを楽しみながらシェアサイクルで市内を回遊することが可能となった。これにより、つるがシェアサイクルの利用者数増加に寄与したと判断した。																																																						

5 実施過程の評価

住民参加プロセスの実施内容	実施頻度・実施時期・実施結果
角鹿中学校区小中一貫校の 設置に向けた 施設整備部会の設立	【実施頻度】計 12 回 【実施時期】平成 29 年 10 月～平成 30 年 9 月 【実施結果】新しい小中一貫校の校舎や体育館、グラウンドなどの設計や備品・図書の移転計画等について、地域住民・保護者・教職員・専門家で検討を行った。 
敦賀駅西地区社会実験の実施	【実施頻度】1 回 【実施時期】令和 2 年 10 月 【実施結果】敦賀駅西地区の中央に配置される「公園・広場」の整備後の活用を検討するため、参加市民を対象にアンケートを実施し、敦賀駅西地区土地活用事業への意見を聴取した。 
持続的なまちづくり体制の構築内容	体制構築に向けた取組内容
敦賀まちづくり協議会の設立	敦賀市における新幹線開業効果の最大化と持続的な賑わいを創生するとともに、その賑わいを嶺南地域全体に波及させることを目的に、令和 6 年 1 月に敦賀商工会議所・敦賀市・福井県で構成する協議会として設立。
定量的に表現できない定性的な効果発現状況	
・敦賀駅西地区土地活用事業地内広場の整備にあたっては、社会実験を行うことで市民や事業者の意見を積極的に取り入れ、利用者の憩いの場となる広場として整備できた。広場に隣接する公共機能部分「知育・啓発施設 ちえなみき」は、全国初の公設民営書店として、令和 4 年 9 月のオープンから 3 か月余りで来場者が 10 万人を超えるなど、大盛況を博している。また、敦賀駅西地区土地活用事業は、令和 5 年度土地活用モデル大賞にて国土交通大臣賞を受賞した。 ・国道 8 号敦賀空間再整備事業により新たに生み出された歩行空間を中心とする区間が、近畿地方整備局管内の直轄国道で初めて歩行者利便増進道路（ほこみち）に指定された。これにより、今後はより賑わいのある道路空間創出が期待される。 ・令和 2 年 4 月、つるがシェアサイクルのサービスを開始した。現在、観光要所を主とする市内 15 か所（うち、都市再生整備計画区域内 10 か所）にサイクルポートが設けられ、利用者は年々増加しており、市内の新たな移動手段として期待される。 ・整備された国道 8 号沿道や「otta」においてイベントやキッチンカーの利用が増加し、にぎわい創出に繋がっている。	

6 今後のまちづくりの方策

事業前の まちの課題	達成されたこと	残された未解決の課題／ 新たに発生した課題	今後のまちづくりの考え方	想定される事業
中心市街地において低下する人口密度の維持	郊外の2小学校を含む4つの学校をまちなかに統合する形で角鹿小中一貫校を整備し、旧校舎の老朽化や児童生徒の減少等の課題に対応した学習環境の充実につなげ、子育て環境が向上した。	- 中心市街地における人口減少、人口密度の低下は改善されておらず、定住に向けた取組みを継続して実施する必要がある。 - 統合により閉校となった小学校校舎の利活用が求められている。	- 保育園、認定こども園の再配置や子どもの遊び場の整備など、子育て世代が移住・定住しやすい環境の充実を図る。 - 子どもや高齢者等交通弱者に配慮した公共交通の充実を図る。 - 防災・減災に資する取組を進め、安心して暮らせる災害に強いまちづくりを推進する。 - 閉校となった校舎、特に中心市街地に位置する校舎の転用等を含めた利活用を検討する。	- 居住誘導エリアにおける防災拠点機能を有した地域交流センターの整備 - 廃校施設等の利活用に係る庁内プロジェクトチームによる検討
北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくり	- 北陸新幹線敦賀開業に合わせ、幹線駅前広場や新幹線駅駐車場を整備することで、交通利便性が大きく向上した。 - 駅西地区土地活用事業地内広場や国道8号空間の整備により、まちなかの賑わい創出、まちあるきを楽しめる空間づくりが進められ、町の賑わいが創出された。	市の象徴的な観光地である氣比神宮前の神楽通りについて、門前町にふさわしい空間整備が求められている。	氣比神宮を訪れた観光客を周辺エリアに誘導し、まち歩きを楽しめる空間づくりを目指すとともに、観光客の滞在時間の増加を図る。	- 市道2号線（神楽通り）の2車線化と、それに伴う歩行空間の再整備 - 景観まちづくり整備支援事業の継続実施

6 今後のまちづくりの方策

事業前の まちの課題	達成されたこと	残された未解決の課題／ 新たに発生した課題	今後のまちづくりの考え方	想定される事業
観光拠点となる 敦賀港周辺 エリアの活性化	-	・北陸新幹線等を利用して敦賀市に降り立った方を、まちの中心部へ誘導するという課題の解決に向け、新たな観光拠点の整備に取り組む必要がある。	・敦賀港周辺（金ヶ崎地区）エリアを、官民連携により観光客から選ばれる魅力あるエリアとして再開発を行い、敦賀駅から敦賀港に繋がる人の流れを生み出していく。	・金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画をベースとした賑わい施設等の整備